

令和5年度決算 財務書類からわかる御前崎市の財政状況は？

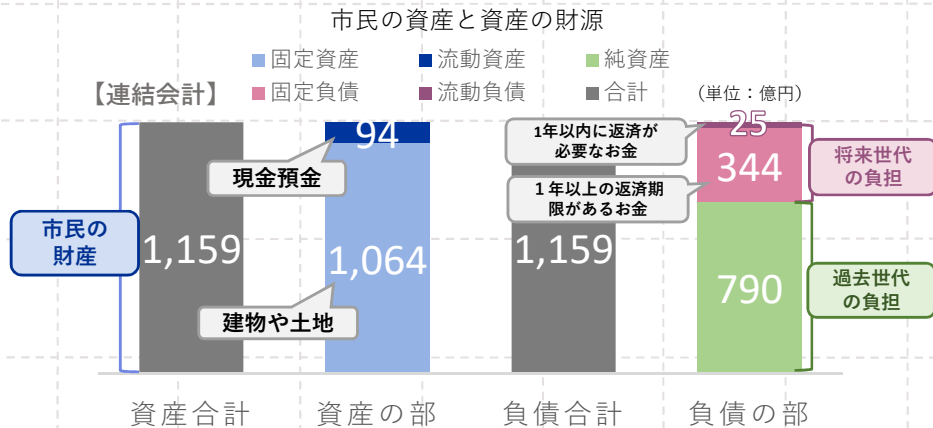
貸借対照表

連結会計・・・

市の一般会計の他、国民健康保険や公共サービスに関わる特別会計や、市と企業が協力して事業を行うケーブルテレビなどの第三セクターを含むすべての会計を含めた会計のこと。

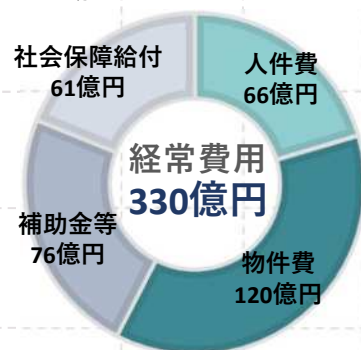
行政コスト計算書

行政サービスに関わるお金の動き



科目別行政コスト

科目	連結会計 (億円)
家賃や光熱費	330
毎月の給料等	66
給料だけでは賄えない経費	265
経常費用 (A)	330
経常収益 (B)	66
純行政コスト (A-B)	265



財政の健全性を保つために、今後の運営に対する注意が必要

固定資産税の収入の減少が大きい一方で、経常経費は横ばいであるため、近年は赤字が続いており経費の不足分を基金（貯金）の取崩しで賄っています。また、公共施設の老朽化による更新・改修が重なり、財源を市債（借金）で確保しているなか、市債残高は令和5年度末時点で99.5億円となり、据置期間の終了により市債の元金償還（返済）が開始されたことにより、今後、償還額は増加していく見込みです。持続的な財政運営のためには、既存事業の縮小だけでなく、公共施設のあり方の検討や公営企業の経営改善が急務です。

純資産変動計算書

市の預金通帳 (単位：億円)

連結会計の純資産比率は68.1%であり、前年度から0.7ポイントの減少
⇒将来世代が利用できるはずの資源を過去・現役世代が消費してしまっている。

科目	連結会計	通帳に置き換えると
前年度純資産残高	819	預金残高
純行政コスト	△265	使ったお金
財源（税金や補助金）	238	収入
本年度差額	△27	収入－支出
本年度純資産変動額	△28	1年間のお金の増減
本年度末純資産残高	790	最新の残高

※純資産比率＝市の保有する資産のうち借金などの負債を除いた本当の財産がどのくらいの割合を占めているかを示す指標。比率が高いほど借金に頼らない運営ができています。（純資産÷資産合計）

資金収支計算書

市の1年間のお金の流れ (単位：億円)

市のサービスに関わる活動
公共施設への投資に関わる活動
資金調達・運用に関わる活動

科目	連結会計
業務活動収支	14
投資活動収支	△17
財務活動収支	2
前年度資金残高	43
今年度資金残高	42

投資活動収支は前年度から6億円の減少
⇒前年度よりも施設に関する支出が増え、収入が減っている。

※金額は億単位となっており、四捨五入をしているため、金額が一致しない場合があります。